

2009年10月21日

投資家の皆様へ

AIG インベストメンツ株式会社

資産運用部門の売却合意に基づく商号変更、ファンド名変更のお知らせ

拝啓 平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、AIG Investments は、アメリカン・インターナショナル・グループ (AIG) 傘下の資産運用部門として、日本をはじめ世界各地で資産運用ビジネスを展開してまいりましたが、先般、AIG グループ向け保険資産運用ビジネスの一部、および不動産直接投資ビジネスを除く全ての資産運用ビジネスをパシフィック・センチュリー・グループ (Pacific Century Group) が所有するブリッジ・パートナーズ L.P. (Bridge Partners, L.P.) に売却することに合意したことを受け、グローバルに展開している資産運用事業のブランド名を PineBridge Investments に、また各地域における商号を改めさせていただくこととなり、本日開催されました弊社取締役会で下記の変更について承認されましたので、お知らせいたします。

昨年10月のAIG経営再建計画発表以降、ご投資家の皆様方には多大なるご心配をおかけしてきましたことを心よりお詫び申し上げます。

今後、PineBridge Investments として資産運用業務を展開することになりましても、弊社投資信託の運用方針や運用プロセス、それに付随したサービスにつきましては変更の予定はありません。

こうした状況をご理解いただき、引き続き、弊社及び弊社投資信託へのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具

記

1. 商号

新商号	パインブリッジ・インベストメンツ株式会社 (英文表記：PineBridge Investments Japan Co., Ltd.)
旧商号	AIG インベストメンツ株式会社 (英文表記：AIG Investments Japan Co., Ltd.)

2. 商号変更予定日

2009年(平成21年)12月1日

3. ファンド名の新旧対照表（公募投資信託およびファンド・オブ・ファンズ向け私募投資信託）

現在		変更後
ファンド名称	愛称	ファンド名称
<b>国内株式</b>		
AIG日本株オープン	ビューティフルジャパン	→ パインブリッジ日本株オープン (変更なし)
日本株式ツインフォーカスファンド<積極成長型>		→ (変更なし)
日本株式ツインフォーカスファンド<安定成長型>		→ (変更なし)
AIG／ひろぎん日本株式CSRファンド	クラスG	→ パインブリッジ／ひろぎん日本株式CSRファンド
AIG／りそなジャパンCSRファンド	誠実の杜	→ りそなジャパンCSRファンド
AIG－SAIKYO日本株式CSRファンド	すいれん	→ SAIKYO日本株式CSRファンド (変更なし)
ザ・ジャパン・キャピタリスト	キャピタリスト	→ パインブリッジ日本株式オープン
AIG日本株式・オープン		→ パインブリッジ日本株式SRIファンド<DC>
AIG日本株式SRIファンド<DC>		→ (変更なし)
<b>海外株式</b>		
AIG新成長国 株式ファンド	ライジングカントリーズ	→ パインブリッジ新成長 国株式ファンド
AIGワールド株式・オープン		→ パインブリッジ・ワールド株式・オープン (変更なし)
アリコ グローバル・テクノロジー・ファンド		→ (変更なし)
<b>海外債券</b>		
AIG世界国債インカムオープン「毎月タイプ」	スーパーシート	→ パインブリッジ世界国債インカムオープン「毎月タイプ」
AIG世界国債インカムオープン「年金タイプ」	スーパーシート	→ パインブリッジ世界国債インカムオープン「年金タイプ」
だいち／AIG資源国債ファンド	リソースインカム	→ だいち／パインブリッジ資源国債ファンド
AIG新成長国債券プラス	ブルーオーシャン	→ パインブリッジ新成長 国債券プラス
AIG新成長国債インカムオープン	レインボーシート	→ パインブリッジ新成長 国債インカムオープン
AIG現地通貨建て新成長国債インカムオープン<毎月分配型>	パッション	→ パインブリッジ現地通貨建て新成長国債インカムオープン<毎月分配型>
<b>バランス型</b>		
AIGイレブンプラス<毎月決算型>	イレブンプラス	→ パインブリッジ・イレブンプラス<毎月決算型>
AIGニューグローバルファンド<毎月分配タイプ>	メインアベニュー	→ パインブリッジ・ニューグローバルファンド<毎月分配タイプ>
AIGニューグローバルファンド<1年決算タイプ>	メインアベニュー	→ パインブリッジ・ニューグローバルファンド<1年決算タイプ>
AIGニューワールドバランスファンド	グッドハーモニー	→ パインブリッジ・ニューワールドバランスファンド
AIG新成長国ダブルプラス<毎月分配タイプ>	アメージング・ストーリー	→ パインブリッジ新成長 国ダブルプラス<毎月分配タイプ>
AIG新成長国ダブルプラス<1年決算タイプ>	アメージング・ストーリー	→ パインブリッジ新成長 国ダブルプラス<1年決算タイプ>
<b>その他</b>		
AIG米国優先証券ファンド	ラストリゾート	→ パインブリッジ米国優先証券ファンド
AIG米国優先証券ファンド(為替ヘッジなし)	ピュアリゾート	→ パインブリッジ米国優先証券ファンド(為替ヘッジなし)
AIG米国優先証券オープンAコース(為替ヘッジあり)	マイ・リゾート	→ パインブリッジ米国優先証券オープンAコース(為替ヘッジあり)
AIG米国優先証券オープンBコース(為替ヘッジなし)	マイ・リゾート	→ パインブリッジ米国優先証券オープンBコース(為替ヘッジなし)
AIG米国REITインカムファンドAコース(為替ヘッジあり)	バイリンガル	→ パインブリッジ米国REITインカムファンドAコース(為替ヘッジあり)
AIG米国REITインカムファンドBコース(為替ヘッジなし)	バイリンガル	→ パインブリッジ米国REITインカムファンドBコース(為替ヘッジなし)
AIGコモディティファンド	ネイチャー・メイド	→ パインブリッジ・コモディティファンド
AIGコモディティファンド<1年決算型>	ネイチャー・メイド	→ パインブリッジ・コモディティファンド<1年決算型>
ジャパン・バンク・キャピタル証券ファンド2009-07		→ (変更なし)
ジャパン・バンク・キャピタル証券ファンド2009-10		→ (変更なし)
<b>ファンド・オブ・ファンズ向け私募投資信託</b>		
AIG／FOFs用コモディティF(適格機関投資家限定)		→ パインブリッジ／FOFs用コモディティF(適格機関投資家限定)
AIG米国ハイ・イールド・ボンドファンドFC(適格機関投資家専用)		→ パインブリッジ米国ハイ・イールド・ボンドファンドFC(適格機関投資家専用)
AIG米国ハイ・イールド・ボンドファンドFD(適格機関投資家専用)		→ パインブリッジ米国ハイ・イールド・ボンドファンドFD(適格機関投資家専用)
AIG新成長国株式ファンド FOFs専用(適格機関投資家専用)		→ パインブリッジ新成長国株式ファンド FOFs専用(適格機関投資家専用)
<b>マザーファンド</b>		
AIG新成長国債券マザーファンドI		→ パインブリッジ新成長 国債券マザーファンドI
AIG新成長国債券マザーファンドII		→ パインブリッジ新成長 国債券マザーファンドII
AIG先進国債券マザーファンド		→ パインブリッジ先進国債券マザーファンド
AIGコモディティマザーファンド		→ パインブリッジ・コモディティマザーファンド
AIG日本大型株式マザーファンド		→ パインブリッジ日本大型株式マザーファンド
AIG新成長国株式マザーファンド		→ パインブリッジ新成長 国株式マザーファンド
AIGグローバル小型株式マザーファンド		→ パインブリッジ・グローバル小型株式マザーファンド
AIG米国ハイ・イールド・ボンドマザーファンド		→ パインブリッジ米国ハイ・イールド・ボンドマザーファンド
AIG新成長国株式マザーファンドII		→ パインブリッジ新成長 国株式マザーファンドII
AIG先進国好金利資源国債マザーファンド		→ パインブリッジ先進国好金利資源国債マザーファンド
AIG新興国好金利資源国債マザーファンド		→ パインブリッジ新興国好金利資源国債マザーファンド
AIG ジャパンCSRマザーファンド		→ パインブリッジ・ジャパンCSRマザーファンド
AIG ジャパンSRIマザーファンドI		→ パインブリッジ・ジャパンSRIマザーファンドI
AIG日本株式マザーファンドII		→ パインブリッジ日本株式マザーファンドII
AIG日本株式マザーファンドI		→ パインブリッジ日本株式マザーファンドI
AIG米国優先証券高格付マザーファンド		→ パインブリッジ米国優先証券高格付マザーファンド
AIG米国REITマザーファンド		→ パインブリッジ米国REITマザーファンド
短期債マザーファンド		→ (変更なし)

※ ファンド愛称につきましては、変更はございません。

## <ご質問にお答えします>

質問1. パシフィック・センチュリー・グループについて教えてください。

お答え パシフィック・センチュリー・グループは、1993年に設立されたプライベート・インベストメント・ファームで、アジア地域を拠点に、金融サービス、不動産開発、通信などへの投資活動を行っています。今後、PineBridge Investmentsは、独立した資産運用会社として展開していくことになります。

質問2. 新社名にはいつ変更されるのでしょうか？

お答え 現在のAIG Investmentsは、PineBridge Investmentsにブランド名を変更し、それに従って日本法人の商号も、本年12月1日付けで、AIGインベストメンツ株式会社からパインブリッジ・インベストメンツ株式会社に変更させていただきます。

質問3. 社名が変更になった場合、ファンド名も変更になるのでしょうか？

お答え 社名変更に伴って、AIGの名を冠しているファンドについては、12月1日付けで信託約款の変更をさせていただきます。なお、社名、ファンド名が変更になりましたとしても、弊社ファンドの運用機能には原則として変更はありません。

質問4. ファンドの運用方針やそのサービスなどは変わるのですか？

お答え 12月1日以降も、弊社グループの実際のビジネス運営は、現在の経営陣を中心に行う予定です。このため、基本的な運用哲学は継続されますので、弊社が設定・運用を行っている個々のファンドの運用方針にも変更はなく、またそれに付随したサービスを提供する支援体制にも変更の予定はありません。  
弊社グループでは、引き続き皆様にご満足いただける運用成果と高品質のサービスの提供を続けていく所存です。

\* ブランド名のAIG Investmentsは、弊社が属するグループの総称であり、PineBridge Investments（パインブリッジ・インベストメンツと読みます）は、今後弊社が属するグループの新しい総称です。

<ご照会先：0120-935-961（9：00～17：00、土日・祝休日除く）>